

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成20年8月14日(2008.8.14)

【公表番号】特表2003-535962(P2003-535962A)

【公表日】平成15年12月2日(2003.12.2)

【出願番号】特願2002-502061(P2002-502061)

【国際特許分類】

C 11 D 3/37 (2006.01)
C 08 F 290/06 (2006.01)
C 08 G 81/02 (2006.01)

【F I】

C 11 D 3/37
C 08 F 290/06
C 08 G 81/02

【手続補正書】

【提出日】平成20年6月5日(2008.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 少なくとも1つの界面活性剤と、少なくとも1つのビルダーと、洗剤若しくは清浄剤に対して、主鎖に対して、(メタ)アクリル酸-基本構成ブロック0~30質量%が(無水)マレイン酸-基本構成ブロック若しくはフマル酸-基本構成ブロック又はその混合物により、かつ(メタ)アクリル酸-基本構成ブロック0~10質量%が他の共重合性のエチレン系基本構成ブロックにより置換されていてよい、ポリ(メタ)アクリル酸-主鎖、及び側鎖として、250~10,000の平均分子量を有し、エステル基を介して主鎖に結合したC_{1~3}0-アルキルポリ-C_{2~4}-アルキレングリコールからなり、その際、ポリマーに対して、主鎖1~19質量%及び側鎖81~99質量%が存在し、かつこの比及び側鎖の平均分子量が、ポリマー中に遊離カルボキシル基が存在するように選択される少なくとも1つのポリマー0.2~10質量%とを含有している洗剤又は清浄剤。

【請求項2】 ポリマー中に主鎖5~15質量%及び側鎖85~95質量%が存在する、請求項1記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項3】 ポリマー中に側鎖の平均分子量が500~2000である、請求項1又は2記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項4】 ポリマー中にポリ(メタ)アクリル酸鎖が、(メタ)アクリル酸-基本構成ブロックと(無水)マレイン酸-基本構成ブロック0~10質量%とから構成されている、請求項1から3までのいずれか1項記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項5】 ポリマー中に側鎖としてC_{1~6}-アルキルポリエチレングリコールを使用する、請求項1から4までのいずれか1項記載の洗剤又は清浄剤。

【請求項6】 少なくとも1つの界面活性剤、少なくとも1つのビルダー及び場合により更に常用の内容物を水と混合してスラリーにし、かつ引き続きスラリーを乾燥させることによる固体の洗剤又は清浄剤を製造する方法において、洗剤若しくは清浄剤の固体の内容物に対して、0.2~10質量%の存在で、請求項1から5までのいずれか1項に記載の少なくとも1つのポリマーの混合を実施することを特徴

とする、固体の洗剤又は清浄剤の製造方法。